ひぐちのりこ 市議会ニュースレター

あったかトーク

第34号　2020年 春号

ひぐちのりこ事務所（青葉区版）
発行人
樋口 典子
1959年仙台市生まれ 管理栄養士
社民党仙台市議団
●市民教育常任委員会
●防災・減災推進調査特別委員会 委員長
●議会運営委員

第1回定例会 「多様な力で未来を創る、新たな杜の都への挑戦」へ抱負

2020年第1回定例市議会は、2月7日から3月12日まで開かれました。

冒頭、郡市長は来年度の施政方針の表明を行いました。新総合計画を策定する新年度を「未来志向のまちづくりに向けたチャレンジする年にしたい」と位置づけ「若い力が育ち、活躍するまちへの挑戦」「創造と可能性への挑戦」「自然と共存する防災環境都市づくりへの挑戦」「暮らしを守る安全・安心への挑戦」「市役所経営への挑戦」の5つの柱となる「挑戦」を強調しました。

公文書館整備など60議案を審査

2019年度の一般会計補正予算では、国の補正予算に対応した、小学校高学年・中学校でのタブレット教育のための市立学校ネットワーク環境整備に48億円余、旧貝森小学校校舎を公文書館として改修、整備に2億4千万円、台風19号で被災した農家の作付補助に4,300万円をはじめ、道路維持改良や公園整備、高速鉄道や震災復興、新庁舎建設基金への増額など計145億円余を計上しました。

新年度一般会計の歳入は、国の地方税法の改正を反映して法人市民税が約37億円(5.1%)の減となりましたが、法人事業税交付金の皆増や地方消費税交付金の増などもあり、対前年度比2.7%、15億円余減の約5,411億円が計上されました。

特別会計は3.3%、106億減の3,064億円、企業会計は2%、46億円減の2,313億円となり、合計は9年連続の1兆円超えの1兆788億円となりました。

中央卸売市場条例を全面改正

大規模事業者等の参入など市場自由化を目的とした、国における「卸売市場法」の改正を受けて、市が設置者たる中央卸売市場の業務に関する事務を定め、安定的な卸売事業の確保を図ること、花き部を花き市場に変更する等のための「仙台市中央卸売市場業務条例」の全部改正案が上程されました。これに対し、卸売、仲卸業者等の市場関係者から中央資本事業者の参入は、中小事業者の存続を危ぶませる危険性等が指摘されましたが、市当局はほぼ今まで通りの事業ができる内容を「規則」で定めるとしました。

児童相談所体制の拡充や区役所等における「子ども家庭応援センター」設置による福祉事務所職員増などの職員定数条例の改正案、台風19号による被災者の入学選抜手数料・入学金・授業料を減免することができるための学校条例改正案なども上程されました。

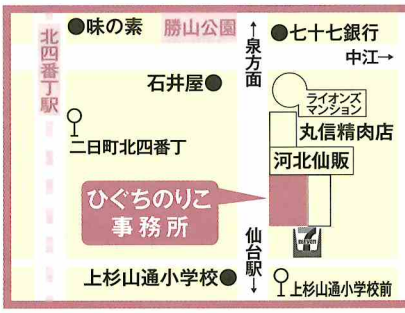
また、青年文化センターの改修にかかる工事請負契約、若林障害者福祉センターの指定管理者指定の件や藤本副市長の選任(再任)などの人事案件も提案され、これら議案は全て可決されました。

《採択された意見書》

・「新型コロナウイルス感染症対策の徹底を求める件」
・「介護人材確保による持続可能な介護保険制度の確立を求める件」
・「中高年層のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める件」

「ひぐちのりこ」にお声をお寄せください!!

これまで市民生活などの様々な場面をテーマに市政報告&おしゃべり会を開いてきました。今回の集まりは休止しますが、新型コロナウイルス対応などについてのご相談やお困りごと、ご提案などお気軽に事務所あてご連絡ください。



ひぐちのりこ事務所
〒980-0011
仙台市青葉区上杉3丁目9-31
プリマヴェーラ杜王101
TEL.022-398-8171
FAX.022-398-8172
セブンイレブン側からお入り下さい。
お気軽にお立寄り下さい！

ひぐちのりこ 東奔西走！

1月16日～17日 防災・減災推進調査特別委員会視察

16日の午前中は、墨田区での大規模災害への備えについて、東京都の沿岸部海抜ゼロメートル地帯といわれる近隣の5区とともに行っている水害対策や、住民の方々への広報などについて聞きました。

午後からは横浜市鶴見川流域の浸水被害を防ぐための雨水貯留施設「新羽末広幹線」について現地視察。都市型災害を防ぐ深さ60メートルを超える巨大な管を見学。昨年襲来した台風15号および19号ではその威力を発揮し浸水被害を最小限に食い止めました。

17日は横浜市での避難勧告の発令状況、避難所での物資備蓄、供給について、各区での権限による災害対応、福祉避難所、市民への啓発などレクチャーを受けました。

1月24日 会派予算要望回答

昨年10月に市長に提出した「2020年度予算要望」についての回答がありました。

来年度の予算では「保育需要の拡大、介護など社会保障に要する予算は拡大しており、工夫をする」と説明がありました。

「子どもの権利条例」については、今後、具体の施策を進めていく中で条例としての制定の必要性等を含め幅広く検討していきたい。「交通基本条例」では次期せんだい都市交通プランの策定を見据え検討を進めるとの回答でした。

詳細についてはひぐち事務所にお問い合わせください。

2月21日 市民教育常任委員会で質問 ―放射線副読本、普通教室の照度

2018年に文部科学省が放射線副読本を改訂しました。外部被ばくと内部被ばくについて「体が放射線を受けるという点は同じ」と書かれていますが、環境省の見解と異なるものであるなど、大変問題が多い副読本です。このことについて質しました。副読本の内容につきましては、科学技術や医療等の専門家や国の関係省庁を含めて編集しており、最終的には国が決定したものと理解しているとの答えでした。

小中学校において学校環境衛生基準で定められている照度の下限値（300ルクス）を下回る普通教室が15%ほどあることを指摘し、改善を求めました。照明器具の清掃に加え、古い蛍光灯の交換等の実施や、児童生徒の席を照度の高い場所に移すなどの運用を行っている。大掛かりな電気設備工事等が必要になる場合もあり、主に校舎の改築、大規模修繕等の機会をとらえて改善を図っているとの答弁でした。さらに、1月に仙台国際センターで行われた全国救急隊員シンポジウムの反響など質問しました。

なお、1月21日の常任委員会では消費生活センターの機能などについて質問しました。

2月28日 臨時休校の対応について、議員協議会

前日突然政府から発表された新型コロナウイルス感染症による臨時休校の対応について、議員協議会が開かれ、会派を代表して質問しました。保護者の休暇取得について、市から企業に働きかけているのか、公共インフラなどに携わる人たちが休むことによって、業務に支障をきたすことへの対策に対しては、経済界には、テレワークなどを要請している。公共インフラ、保育所などの業務に支障が出ないように、勤務の調整などを促す。との答えでした。

お願い 「ニュースレター」を郵送でお届けしている方には、発行側の情報不足で、逝去や転居された方へも送付されるなど、ご迷惑をおかけすることもございます。その際には情報をお寄せくださいますようお願いいたします。お名前や住所などの誤字や訂正につきましても、お手数ですがお知らせください。

皆さんの声を聴いて、市政へ！

2月27日・3月6日 予算等審査特別委員会での質問

健康福祉費(2月27日)

健康福祉費では新型コロナウイルス感染対策について、市HPでのわかりやすくスピーディーな啓発を求めました。国民健康保険証などでの旧姓併記を求め、他都市などの状況を調査しつつ検討したいとのことでした。介護保険を使用してのがん末期患者の在宅サービスについて利用できやすい仕組みづくりおよび、介護保険の対象外となる20歳から39歳までのがん患者に対する経済的支援について求めました。他自治体の事例を踏まえ、研究していきたいとの答弁でした。

自動車運送・高速鉄道事業会計(3月6日)

地下鉄内での痴漢、盗撮の発生件数は2017年度は40件、18年度37件、19年度(2月まで)は22件であり、許してはならない行為と認識している。

トラブル発生時の対応についてマニュアルを定め、バス、地下鉄とも周知徹底を図り警察等とも連携し取り組みを強化している。車内ポスターの掲示については、効果的な掲出を参考に検討したいとの答弁でした。

3月12日 新型コロナウイルス感染症対応に関して、いのちと健康、暮らしを守る市政を求める申し入れ

市長に対し、社民党仙台市議団は申し入れをしました。

●「感染予防および治療体制」では、適切な情報提供や速やかな医療機関での受診、マスクや消毒液などの点検確保、医療機関等への提供など

●「市民生活への適切な対応等の充実」では、児童クラブ等感染予防の物資の確保と財政措置、事業の中止等の影響に対する必要な支援、休業による損失の補償など

●「学校休業に伴う、児童生徒への適切な対応」では 履修不足による学力低下、運動不足等への必要な対策、虐待等困難を抱える児童生徒への支援策など

●「地域経済の影響への対策」では、経営が困難になった中小零細企業等への支援策、雇止めや派遣切りを行わないよう指導、必要な休暇が保障されるよう企業等への働きかけなど

全文は、ひぐちブログ3月12日をご覧ください。

ひぐちのりこ 主な活動日誌

1月7日	仙台市消防出初式	1月30日～31日	全国救急隊員シンポジウム
1月14日	フェミニスト議員連盟パワーアップ集中講座	1月31日	議会運営委員会
1月22日	仙台市国民健康保険運営推進協議会	2月5日	仙台市教育委員会教育功労者表彰式
1月23日	みやぎ生協メンバー(組合員)との懇談	2月7日～3月12日	仙台市議会第1回定例会
1月27日	仙台・福島・山形広域観光連携推進協議会研究会	3月17日	防災・減災調査特別委員会

これからの主な予定

4月14日	防災・減災推進調査特別委員会	6月2日	議会運営委員会
5月12日	防災・減災推進調査特別委員会	6月9日～24日	仙台市議会第2回定例会

私立認可保育所基盤整備、学校給食無償化など一般質問しました（2月19日）

全国フェミニスト議員連盟パワーアップ集中講座参加者と

保育士の離職問題

2016年度の全国の厚労省調査によると、保育士の離職率は10.3%となっていますが、仙台での状況について聞きました。同年の私立認可保育所での常勤保育士の離職率は約15%となっており、離職者のうち就労年数5年以内が約8割を占めている。**離職の理由としては、他業種や他の施設への転職、婚姻や妊娠・出産、体調不良等が多くなっているほか、給与・諸手当などの経済的理由を挙げる回答も見られた**との答えでした。

保育士賃金等処遇改善策

国基準では81%とされている私立保育所運営費の人件費の割合が、仙台市では4割から8割と差があることについて見解および賞与も含め、保育士賃金の実態を把握し、処遇改善に向けて実効性ある取り組みの促進を求めました。**保育士本人の確認書による改善内容の確認等に引き続き取り組んでいく**との答えでした。

また、2020年度から施行される改正労働施策総合推進法に定められたパワーハラスメントの防止について質し、法改正の趣旨や内容が必要な取り組みが進められるよう、施設長会議などの機会を捉えて周知・啓発していくとの答弁でした。

保育材料費等の支出

国は、給食費と保育材料費を合計した「一般生活費」について金額を示していますが、上回ったのが62カ所である反面、90カ所が下回っていた現状から、成長発達を保証するために必要な保育材料を用意することは必要不可欠と質しました。**運営費の内訳の適切な周知を図っていくとともに、必要に応じて助言等を行く**との答えでした。

幼児教育・保育の無償化に伴う事務負担

昨年10月からはじまった保育所無償化の実施に伴っての事務負担と副食費の実費徴収の実態を聞きました。**保育の現場からは、新たな事務負担が発生しているとの意見等があり、実態の把握に努めている。課題の解決に向け、どのような対応が可能か検討する**との答えでした。

学校給食無償化、有機栽培・無農薬食材の導入

市民団体の方から、学校給食費保護者負担の軽減と、有機栽培・無農薬食材の導入について署名が提出されましたが、受け止めについて質しました。**給食費改定分の公費負担や安全な食材使用の推進等を望まれる方々の思いと受け止めている。**学校給食の運営に当たっては、本市が法令の区分を超えて経費を負担するなど軽減を図ってきた。引き続き、現行の負担区分をお願いしたい。**有機栽培などの食材は、学校給食に使用されている自治体があることは承知しているが、生産者が少ないことや栽培の難しさなどの面から、価格が高く供給量が安定しないなどの課題があるもの**と認識しているとの答えでした。

会派で学校給食フェアの一コマ（市役所地下食堂）

市議会ひぐちコラム「ハラスメント防止研修」開催!!

議員などを対象に3月6日「ハラスメント防止研修」を行いました。仙台市職員ハラスメント外部相談窓口担当者で弁護士の栗原さやかさんを講師に迎え、最近の動向を踏まえたハラスメント防止について講演を受けました。チェックリストを用いながらの質疑もあり、パワハラの定義やセクハラに当たらない言動を心がけることの重要性を学びました。31名（女性14名、男性17名、議会職員3名含む）と全議員の半数を超える参加者でした。

ホームページ http://www.kaigamori.com/nohiguchi/

ひぐちブログ http://nohiguchi.jugem.jp/

ツイッター twitter アカウント名 ＃nohiguchi

Facebook facebook ページ http://www.facebook.com/noriko.higuchi.18

QRコード

ひぐちのりこ事務所

TEL.022-398-8171 FAX.022-398-8172